

～ひまわり亭(人吉) 本田節氏を招いて～

2月25日に人吉の農家レストラン「ひまわり亭」を経営される本田 節氏をお招きし、「波野の食を語る会」を開きました。

当日は波野地域のベテランのお母さんから、若いお母さんまで14名の参加がありました。

今回の会の目的は、波野の特産品であるキャベツを子どもや孫、波野へ訪れた方に美味しく食べてもらい、波野のファンになってもらうことです。そのために、参加者と即興でキャベツ料理のフルコースを作り、試食し、意見交換を行いました。

キャベツ料理と言っても、従来のキャベツを脇役として使う料理ではなく、視点を換え、キャベツが主役の料理を作りました。例えば、合挽きミンチの中にみじん切りにしたキャベツをたくさん入れコロケにしたり、キャベツペーストを作り、スープや米粉スイーツの中に混ぜ込んだりと工夫された料理を12品作りました。

参加者は本田さんのバイタリティーのすごさ、ポテンシャルの高さに圧倒されていました。やすらぎ交流館では今後も、波野地区へ新しい風を引き込むために、本田さんをはじめ、多くの方にアドバイスをいただきたいと思っています。

皆様のご参加もお待ちしております。



3月21日～22日に、やすらぎ交流館にてツリークライミングの講習会を行いました。ツリークライミングとは、ロープと専門の道具をつかい、大人から子どもまで、誰もが木登りを通して森と親しむための活動です。日本はもちろん、発祥地のアメリカやカナダ、オーストラリア、台湾など世界中で取り組まれています。講義やロープワーク・実際に木に登る実技と最終テストを経て、講義を受けた交流館スタッフと6名の受講生が初級資格を取得しました。



練習会風景

また、この講習会にあわせて、3月22日に波野の子ども達を対象とした「ツリークライミング体験教室」も実施しました。小園にある「はさこの巨木」に、13人の子ども達が挑み、無事全員登ることが出来ました。子ども達からは「木に登るのは、とっても楽しい」とか「家の近くの木に登りたい」等の感想を聞くことが出来ました。

波野には、山が広がり、木登りに適した巨木が数多くあるので、子ども達に木登りを通して、山・森の大切さを伝える「体験教室」を今後も開催して行きます。また、「講習会」も適時開催し、交流館スタッフも研鑽し、子ども達を直接指導できる「上級資格」目指してがんばりたいと思います。



登りきったよ!



体験教室風景

みんなで挑戦中

「自分でもツリークライミングをやってもたい!」という方は、やすらぎ交流館までお気軽にお問い合わせ下さい。

波野ん便り



2010年5月31日発行

編集・発行
なみの高原やすらぎ交流館
〒869-2801
熊本県阿蘇市波野大字小地野663-1
TEL 0967-23-0555
HP <http://www.aso-yasuragi.com>

農業体験

4月10日(土)に熊本市内に事務所を構える株式会社アイキャッチの社員とその家族総勢66名が、農業体験を行いました。

前日まで雨天だったので、決行出来るか心配でしたが、参加者の願いが通じたのか朝には雨も上がり、作業開始時には日も照っていました。

今回の農業体験では波野地区で生産される作物の中でも、一番代表的なものであるキャベツの定植を行いました。

参加者の中にはキャベツの苗を初めて見る人も多く、収穫する時とは似ても似つかないキャベツの苗に驚いていました。

参加者が66人と大人数だったので、講師として榎木野 雄二さん、藤井 信保さん、古澤 止さんに指導いただきました。また、体験終了後には、質疑応答が行われ、参加者の皆さんは講師の話に熱心に聞き入っておられました。

体験後はやすらぎ交流館に戻ってきて、昼食にBBQをされ、その後はスポーツなどで思い思いの時間を過ごし帰途へ着かれました。

参加者の皆さん、次は収穫の体験をしに、また来てくださいね!



体験講師の紹介

城井 榮作さん(69才)

城井先生は、やすらぎ交流館で行われる林業体験の講師として、良き相談役として大変お世話になっています。

自分のこれまでの経験談を面白おかしく話す、独特の言い回しと優しい人柄に惹かれた方も多はず。

そんな城井先生は郵便局を退職後、それまで出来なかった山林の手入れを始められました。実益を兼ねて好きな山仕事をする事事が、長続きの秘訣ともおっしゃられています。

城井先生に印象に残っている林業体験団体を聞いたところ、「全ての団体を覚えているよ。」と前置きをした上で、「一番は、大学生の日本人と留学生と一緒に枝打ちや間伐をしたとき」とおっしゃっていました。

「林業は普通の人知らない事が多いからこそ教え甲斐がある」「教えるのが楽しい」と話す先生は取材に行った日、愛犬スゲくんを傍らに、受講生からももらった寄せ書きを見せながら、笑顔で話をしてくださいました。

